

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2020年7月17日）

### ■第3版 第1刷（2020年3月1日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第2章					
59	右段上から9行目	②脂肪の分解で生じた <b>脂肪酸とモノグリセリド</b> は、	②脂肪の分解で生じた <b>脂肪酸とモノグリセリド(モノグリセロール)</b> は、		20/07/17
66	左段上から2行目	中性脂肪(トリグリセリド)は、	中性脂肪(トリグリセリド: <b>トリアシルグリセロールともいう</b> )は、		20/07/17
第5章					
116	右段上から3行目	胸 <b>膜</b> 腔内圧の	胸腔内圧の	赤字部分を削除	20/07/17
122			コラムの追加	※1を参照	20/07/17
123	「臨床への入門」左段上から2行目	日本呼吸器学会のガイドライン <sup>3)</sup> は、	日本呼吸器学会のガイドライン <sup>3)</sup> は、	p.124文献一覧の番号も合わせて訂正	20/07/17
124	「臨床への入門」右段下から1行目	罹患していると考えられている <sup>4)</sup> 。	罹患していると考えられている <sup>4)</sup> 。	p.124文献一覧の番号も合わせて訂正	20/07/17
124	文献		<b>3) Lambert DW, et al: Tumor necrosis factor-alpha convertase (ADAM17) mediates regulated ectodomain shedding of the severe-acute respiratory syndrome-coronavirus (SARS-CoV) receptor, angiotensin converting enzyme-2 (ACE2). J Biol Chem, 280: 30113-30119, 2005</b>	文献3)として追加	20/07/17
124	文献		<b>4) Behrens EM &amp; Koretzky GA: Review: Cytokine Storm Syndrome: Looking Toward the Precision Medicine Era. Arthritis Rheumatol, 69: 1135-1143, 2017</b>	文献4)として追加	20/07/17

※1 以下のコラムを追加します

## Column

## 新型コロナウイルス感染症

2019年に発生し、世界的な大流行を起こした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス（SARS-CoV）-2とよばれる新型コロナウイルスの感染により引き起こされる急性呼吸器症候群を主症状とする疾患である。ウイルスが細胞に侵入するために使われる受容体は、血圧調節に重要なレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系（第6章、第10章参照）で重要なアンジオテンシン変換酵素II（ACE2）であり、心臓、腎臓、精巣の他、さまざまな組織で低濃度で発現している分子である<sup>3)</sup>。SARS-CoVやSARS-CoV-2はこの分子を利用して細胞内に侵入するが、この分子の発現状態が病態に大きく関連していると考えられている。このように、生体に発現する分子の発現強度や局在によってCOVID-19の症状が異なる可能性が指摘されており、一部の患者でサイトカインストーム症候群が起こっているのではないかと考えられている。このサイトカインスト-

ーム症候群は20世紀初頭に、敗血症の症例から発見されている。細菌が体内で増殖し、死に至る敗血症は、病原体の増殖が直接の死因ではなく、病原体に対する免疫機構の暴走が死因であるという報告がはじまりである<sup>4)</sup>。その後、サイトカインストーム症候群は感染症や自己免疫疾患により引き起こされる重症化の原因として捉えられてきた。サイトカインストームは、免疫系に対するネガティブフィードバックが失われ、炎症性サイトカインが過剰産生されることにより全身に炎症が広がり、多臓器不全が引き起こされる症状である。スペイン風邪、高病原性鳥インフルエンザ、SARSといった呼吸器系のウイルス感染症において、呼吸器だけの症状にとどまらず、多臓器不全が起こり死に至るような症例については、サイトカインストームの関与が疑われており、免疫機構の暴走を止める薬剤による制御が期待されている。